

審判番号	本件商標	類	結論	適用条文と要旨 146P
不服2023-011335	smartgovernment	35	Z (拒絶)	【商標法3条1項6号】
＜審決要旨＞ 「デジタル技術を活用するなど、効率的に業務を行うことができる政府や自治体」程の意味合いを表す。 (1) 構成中「s m a r t」の文字は「利口な、賢い」の意味、「g o v e r n m e n t」の文字は「統治機関、政府」（前掲書）の意味を有する語であり、いずれも一般的によく知られた英単語である。 (2) 「スマートガバメント」の文字は、「デジタル技術を活用するなど、効率的に業務を行うことができる政府や自治体」程の意味合いを表す語として、行政の施策方針や企業の経営方針等に一般的に使用されている実情が確認できる。 (3) そうすると、政府や自治体の理念や経営方針等として理解するにとどまるから、本願商標は、需要者が何人かの業務に係る役務であることを認識することができない商標というべきである。				

審判番号	本件商標	類	結論	適用条文と要旨 321P
不服2024-002869	キリキリ	5	Y (登録)	【商標法3条1項3号、4条1項16号】
＜審決要旨＞「キリキリとした痛みに効果、効能がある薬剤」を表す。 (1) 「キリキリ」の文字は、「さしこむように鋭い痛みを感じるさま。（広辞苑 第七版）」の意味を有する。 (2) そうすると、「薬剤」等に使用した時は、「キリキリとした痛みに効果、効能がある薬剤」ほどの意味合いを認識、理解させるにとどまり、「薬剤」の品質、効能を表示するに過ぎない。また、上記の品質、効能を有する薬剤以外に使用するときは、品質の誤認を生じさせるおそれがある。				

審判番号	本件商標	類	結論	適用条文と要旨 327P
不服2024-003078	産土米	30	Y (登録)	【商標法4条1項11号】 ①うぶすな ② 
＜審決要旨＞ 「産土」の文字は、複数の一般的な辞書に記載されている語、「ウブスナ」の称呼で一定程度知られている。 (1) 「産土米」の文字は辞書等に掲載がなく、成語ではないが、その構成文字中の「産土」の文字は、「ウブスナ」と読み、「人の生まれた土地。生地。本居。（広辞苑 第七版）」の意味を有する。				

(2) また、「米」の文字は、本願の指定商品の普通名称又は商品の品質若しくは原材料を表示し、自他商品の識別標識としての機能を果たし得ないから、「産土」から「ウブスナ」の称呼も生じる。

(3) 他方、引用商標「うぶすな」から「ウブスナ」の称呼を生じるから、両商標とは、ともに「ウブスナ」の称呼、及び「人の生まれた土地。生地。本居。」の観念を共通にする、称呼及び観念において類似する商標である。

審判番号	本件商標	類	結論	適用条文と要旨 311P
不服2024-002374	まなびVA!	35 41	Y (登録)	【商標法4条1項11号】 

<審決要旨> 引用商標からは「マナビバキッズ」の一連の称呼を生じるから、本願商標とは類似しない。

(1) 本願商標は、「まなびVA!」の文字を標準文字で表してなり、これより「マナビバ」の称呼を生じ、特定の観念は生じない。

(2) 引用商標は、各段の構成文字は、文字種や書体を異にするものの、中央を揃えて、間をさほど空けずに近接し、まとまりよく一体的に配置されているから、構成文字全体を結合した一連一体の語を表してなるとの印象を与える。

(3) そうすると、引用商標は、その構成文字に相応して、「マナビバキッズ」の称呼を生じ、特定の観念は生じないから、「マナビバ」の称呼を生じる本願商標と引用商標とは、外観、観念はもとより、称呼上も類似しない非類似の商標である。

審判番号	本件商標	類	結論	適用条文と要旨 265P
不服2023-022392	焼肉食堂かど家	43	Y (登録)	【商標法4条1項11号】 元祖大分やきそば 

<審決要旨> 本願商標の上記構成及び称呼からすれば、構成全体をもって、一体不可分のものとして認識し、把握されるとみるのが自然であるから、引用商標とは、類似しない。

(1) 本願商標「焼肉食堂かど家」の構成文字は、同じ大きさ及び書体で、字間なく、横一列にまとまりよく表してなるから、全体で一連一体の語を表してなると看取でき、いずれかの文字部分が独立して看者の注意を引くようなものではない。

(2) また、構成文字全体として具体的な意味合いを認識させるものではなく、また、その構成文字全体から生じる「ヤキニクショクドウカドヤ」の称呼も一連に称呼し得るものである。

(3) そうすると、本願商標の上記構成及び称呼からすれば、一体不可分のものとして認識し、把握されるとみるのが自然であるから、「カドヤ」の称呼を生じることを前提とした原査定は、取消しを免れない。